

佐賀植物友の会会報

第716回例会案内

きゅうたけおなべしまけていえん たけおし
 旧武雄鍋島家庭園（武雄市）

担当：井上康・小池・伊藤

今年度最後の観察会は武雄神社周辺、武雄自治領の藩邸跡（旧武雄鍋島家庭園）の植物を観察します。今回の主目的は武雄自治領の藩邸跡の植物がメインとなります。江戸時代に植栽されたものが現在も残っています。鍋島茂義公は日本で初めて近代化を成し遂げた方です。植物資料、外国、国内標本も残っています。観察会ではシーボルトが見たといわれる大楠や、紅葉しているモミジの大木が見られるでしょう。学習会は藩邸跡の植物と茂義公の植物資料の説明になります。図絵に描かれたバラ（出島）の発見と挿し木苗、茂義公+直正公が進めた幕末の近代化が英国、仏国からの植民地化を防いだ話等々、井上康彦副会長から興味深いお話がたくさんあります。防寒対策や水分補給は各自でお忘れないようにお願いします。（一般向き）

◎とき 2025年12月7日（日）10:00～12:00

◎ところ きゅうたけおなべしまけていえん 旧武雄鍋島家庭園（武雄町大字武雄 5534）

◎集合 武雄市文化会館駐車場① 10時00分

◎交通 駐車場①が満車の時は駐車場②にとめてください。

シーボルト



◎観察コースと主な植物

[駐車場] →→ トウチク → ムクロジ → 塚崎の大楠 → イロハモミジ大木 → ヤマザクラ変異個体 → スイリュウヒバ、ナギ、ツバキ類、コウヤマキ、キリシマツツジ、その他 → エドヒガン → カンチク → チシャノキ → 茂義公銅像 → コサンチク →→ [駐車場]

【木本類】

トウチク、コサンチク、シホウチク、カンチク、チシャノキ、スイリュウヒバ、ムクロジ、ヒヨクヒバ、フクレバウバメガシ、ヒイラギ、キリシマツツジ、ナギ、コウヤマキ、ヤブツバキ、盃葉椿、肥後椿、万重咲椿、ツクシシャナゲ、エドヒガン白と桃の大木、ヤマザクラの変異個体、イロハモミジ大木、シーボルトが見た塚崎の大楠